

横浜市立三ツ境学校 令和 2 年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○全職員が一丸となって、児童・保護者・地域の願いを受けとめ、「まちと共にあゆむ」学校づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもが、学ぶ楽しさを味わうとともに、学び続けることの大切さを理解できるようにします。 ・子どもたちのことをよく見つめ、「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活できるようにします。 ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携を強化し、信頼に応える学校づくりを進めます。 ・全職員が相互に啓発や連携をする活気にあふれた学校運営組織を確立していきます。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

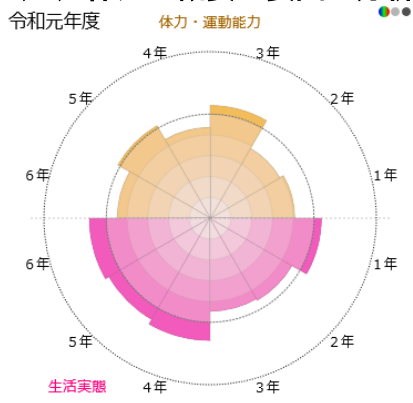
重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	健やかな体	教育活動全体を通して、課題解決的な学びの過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。	①校内研修（教育課程研やメンター研等）による、体育科の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進に取り組む。 ②学力・学習状況調査や体力・運動能力調査等の結果から児童の実態を捉え、各種行事や一校一実践に取り組み、児童の体力向上を図る。 ③地域や保護者と連携して、健康・安全についての取組の日常化を呼びかける。
	体育部		

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・外遊びが好きな児童が多い。
- ・バスケットボール、野球、剣道、サッカーなど、地域のスポーツクラブに所属している児童が多い。
- ・体格、健康面では、健康に対する意識を高くもつことができおり、年間を通して病欠が少なく、元気に登校できている。しかし、基本的な生活習慣が確立されていない児童もいることから、さらなる充実が求められる。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体力テストの結果から、全体的に市の平均を下回っている。
 ⇒全学年を見ても、ほとんどの調査項目（反復横跳び、上体起こし以外）は下回っている。
 生活状況では、2年生（現3年生）が下回っている。
 調査項目によって学年間に差があり、それぞれの学年で課題がある。共通して長座体前屈（柔軟性）、50m走（瞬発力）、握力（筋力）などに課題がある。
 体づくり運動や特活・集会等でいろいろな遊びを紹介しながら、遊びの質を高め、児童が体を動かすことの楽しさを味わうことで、これらの課題を解決していけると考える。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ・体育科では、体づくり領域を重点領域とし、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育むとともに、基礎的な体力を高めることができるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、日常の食事の大切さに気付くとともに、栄養を考えた食事の実践ができるようにする。
- ・理科では、人の体のつくりと運動の関わりや、人の体のつくりと働きについて正しく理解し、体力を高めたり健康を保持増進したりする意欲がもてるようにする。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科の授業で培った資質・能力をさらに発展させ、より高い技能を目指す。
- ・学校保健委員会では、児童生徒の健康面での課題から、重点取組テーマを設定し、家庭でも取り組むことで、家族ぐるみでの健康の保持増進への意識を高められるようにする。
- ・食教育では、楽しく食事をするのが、人と人とのつながりを深め、豊かな食生活につながることや、食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく組み合わせることで食べる大切さを理解させる。

課外活動

- ・地域運動会
- ・学校保健委員会、運動委員会の取組
- ・各学級へのボール、長縄の分配
- ・区、市の水泳大会、区球技交流会

令和2年度 三ツ境学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 「ペアランニング」の実施

《ねらい》 ペアと協力して、楽しく運動する機会の確保

《内容》 運動委員会・なかよし委員会（児童）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

●指 標： ①行事後の振り返り 「事前取組」 「満足度」

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」 「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。

<参考> 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」